

平成22年2月5日

各位

本店所在地 東京都渋谷区渋谷二丁目1番1号  
 会社名 株式会社アイレップ  
 代表者 代表取締役社長 紺野 俊介  
 (コード番号: 2132)  
 問合せ先 常務取締役管理本部長 室井 智有  
 電話番号 03-5464-3398 (代)

### 平成22年9月期業績予想の修正及び特別利益・特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成21年11月13日に公表した平成22年9月期(平成21年10月1日～平成22年9月30日)の業績予想を下記のとおり修正いたします。また、あわせて特別利益及び特別損失を計上いたしますので、その概要をお知らせいたします。

#### 記

#### 1 平成22年9月期第2四半期連結業績予想数値の修正(平成21年10月1日～平成22年3月31日) (単位:百万円, %)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	4,893	15	12	△3	円 銭 △123.98
今回修正予想(B)	5,114	99	93	39	1,462.34
増減額(B-A)	221	84	81	42	1,586.32
増減率(%)	4.5%	560.0%	675.0%	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年9月期第2四半期)	4,579	74	77	31	1,186.01

#### 2 平成22年9月期第2四半期個別業績予想数値の修正(平成21年10月1日～平成22年3月31日) (単位:百万円, %)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	4,876	33	35	19	円 銭 720.96
今回修正予想(B)	5,099	102	105	67	2,487.93
増減額(B-A)	223	69	70	48	1,766.97
増減率(%)	4.6%	209.1%	200.0%	252.6%	245.1%
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年9月期第2四半期)	—	—	—	—	—

(注) 個別の「前期第2四半期実績」については公表していないため記載しておりません。

#### 3 修正の理由

当第1四半期連結会計期間におきましては、引き続き世界的な景況感や雇用情勢が低迷していることにより広告費の削減や採用の抑制が続く企業が多くあるなかで、一部には経済環境の悪影響を受けていない企業や業績に底打ち感のある企業も見受けられます。このような状況にあるクライアントに関して

は、予想以上にリスティング広告の出稿が増加いたしました。この当社の中心サービスであるリスティング広告販売の伸びによって、連結及び個別の売上高は当初の予算を上回る傾向で推移しております。

収益面では、リスティング広告販売の伸びによる利益額の確保に加えて、経費削減による販管費の抑制を行ってきた成果がでております。

一方、当期純利益については「4 特別利益及び特別損失の発生について」に記載のとおり、連結では複数のサイトの固定資産除却損及びあいけあ社の売却までの当期中の業績の連結財務諸表取り込みに伴う純資産と売却価額の差額である売却損の計上を、個別ではあいけあ株式の売却益（平成21年12月3日開示済）を計上いたします。

以上により、平成21年11月13日に公表いたしました平成22年9月期第2四半期業績予想を上回る見込みとなったため、連結、個別ともに業績予想の修正を行います。なお、通期の連結業績予想及び個別業績予想は、いまだ国内景気は脆弱で自律性が乏しく、今後の経済環境によっては二番底に陥る可能性もあり、クライアントのリスティング広告出稿に大きな影響を及ぼすことも否めないことから修正いたしません。修正がある場合には速やかに開示する所存であります。

#### 4 特別利益及び特別損失の発生について

連結財務諸表及び個別財務諸表で以下の特別利益及び特別損失を計上いたします。

##### (1) 連結財務諸表

###### 特別損失

(単位：千円)

科目	金額	内容・理由
関係会社株式売却損	6,994	売却までの今期中のあいけあの業績を連結財務諸表に取り込んだことによる期末純資産分と売却価額の間が生じた差額であります。
固定資産除却損	3,544	複数の自社所有サイトの除却を行ったことによるものであります。

##### (2) 個別財務諸表

###### ①特別利益

(単位：千円)

科目	金額	内容・理由
関係会社株式売却益	1,499	あいけあ株式売却益によるものであります。

###### ②特別損失

(単位：千円)

科目	金額	内容・理由
固定資産除却損	3,544	上記連結財務諸表と同内容であります。

注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上